

輸入銑鐵中に輸入後本邦製鋼原料に供せらるゝものあれば、正確なる需要額の計算は先づ此種銑鐵の數量を究め輸入額より差引くべきものなるも、取調困難にして且つ其數量も多しと云ふにあらざれば大體の計數としては輸入額と生産額との合計を以て需用額と見做し差支なきか如し、(大正二年度に於て此種輸入銑鐵は約六萬噸ありたり)。

二、鐵鋼類機械類の主たる供給國別

大正二年度に於ける鐵鋼類の主たる輸入國別

第一項	鐵鋼類總輸入額	六六、七三九、〇〇〇 ^円
國名	金額	割合
	(千圓以下)	(百分率)
	(四捨五入)	
英 吉 利	二六、三二九、〇〇〇 ^円	三九、五
獨 逸	一六、八三〇、〇〇〇	二五、二
北 米 合 衆 國	一〇、七一二、〇〇〇	一六、〇
白 耳 義	四、二三五、〇〇〇	六、三五
英 領 印 度	二、九五八、〇〇〇	四、四三
瑞 典	二、一九九、〇〇〇	三、三三
支 那	二、〇七七、〇〇〇	三、一一
澳 地 利	五八五、〇〇〇	八、七
佛 蘭 西	二七二、〇〇〇	四、〇
伊 太 利	一七七、〇〇〇	二、七
關 東 州	一四五、〇〇〇	二、二

其他は丁抹の約四萬二千圓、和蘭及海峽殖民地の各二萬四千圓、香港一萬九千圓、英領亞米利加の一

萬三千圓等之れに次く。

上表にて明なる如く、鐵鋼類輸入額は英獨米の三國にて八割強を占むることとなる。

第二項 機械車輛船舶其他

國名	輸入總額	金額(千圓以下) (四捨五入)	割合(百分率)
英吉利	四七、七八九、〇〇〇 ^円	二、三、六、九、八、〇〇〇	四九、五
北米合衆國		一、一、一、七、八、〇〇〇	二三、四
獨逸		一、一、〇、五、一、〇〇〇	二三、一
白耳義		六、三、九、〇〇〇	一、三
佛蘭西		三、二、一、〇〇〇	六七
瑞典		三、一、二、〇〇〇	六、五
伊太利		一、六、八、〇〇〇	三五
瑞西		一、五、六、〇〇〇	三、三
英領亞米利加		一、一、九、〇〇〇	二、五
關東州		七、八、〇〇〇	一、六
奧太利		三、二、〇〇〇	〇、七
丁抹		二、八、〇〇〇	〇、六

其他は和蘭の三千圓之れに次ぎ他西班牙、支那等の供給高は千圓に充たす。

之れによれば英米、獨三國の供給高は總額の約九割六分を占む。

之等は單に大正二年度輸入國別を示せる一例に過ぎされとも、輒近我國に對する諸外國輸入狀況

10 の一般を察知し得へし。

下に大正二年度に於ける鐵鋼材輸入狀況の一般を知らんか爲め、同年度に於ける各國別百萬圓以上輸入せられたる鐵鋼材品目を掲ぐ。

一、鐵塊及錠 (單位圓)

英 國 四、七八五、六六二(内銑鐵四、一六四、〇五九)

英 領 印 度 二、九三一、三七〇(銑鐵)

支 那 二、〇五四、〇九九(同)

瑞 典 一、二五五、八七五(内銑鐵七八三、七三六)

二、條竿形鋼類

英 國 三、六九七、七四三

獨 逸 六、〇八九、〇六八

白 耳 義 二、六一六、八二七

三、鋸鐵

英 國 三、九五六、二七九

獨 國 二、四六七、二四五

米 國 一、四三六、〇一七

四、亞鉛引鐵鋸

英 國 四、八一、一六八

五、鋇力鋸及薄鋸

英 國 四、五三九、〇七五

六、筒及管

英 國

一、五五一、四六一

獨 國

一、五七四、五五二

米 國

三、六五三、一〇九

七、亞鉛引鐵線

獨 國

二、〇四三、三三九

八、軌條

獨 國

一、一九七、一〇六

米 國

一、九二一、六一一

九、家屋、橋梁、船舶等建設材料

米 國

一、二四五、八三八

以上重要輸入品中我國にて未だ製産を見ざるは、鋳力鋸及亞鉛引鐵線にして鋳力鋸の輸入は全部殆んど英國産の獨占とも云ふべく、又亞鉛引鐵線は其の大部を獨逸産に仰けり亞鉛引鋸は我國にては八幡製鐵所に於て製出せらるゝも、輸入品は最近尙五百萬圓を超過し其九割は英國産なり、銑鐵の我國主要の生産者は八幡製鐵所、田中製鐵所、仙人製鐵所、栗木鐵山、輪西製鐵所等にして、其外島根、岡山、廣島地方の砂鐵製煉者等なり、生産の多くは自己製鋼原料に供せられて單に銑鐵としての生産總額は大正二年度に於て僅かに五萬六千三百八十二噸に過ぎず、尙同年度に於ける輸入額は二十六萬五千〇六十五噸にして、英國産最も多く其種類も亦尠からず大約十五種に亘り就中「レッドカー」第三號は總英國銑鐵輸入額の九割に當れり、支那産銑鐵は専ら漢陽製鐵局より製出するものにして、其品質英國の「レッドカー」より硬し各國銑鐵中最も品位の優秀なるは瑞典産の木炭銑なり、印度銑鐵は從來

12

其の輸入を見さりしも支那革命擾亂以來同國銑の輸入杜絶し其代用とし大正元年度は六萬七千噸を輸入したるに初まれり(大正四年に及んで本溪湖製鐵所の事業を開始せり)

條竿及形鋼類の輸入額最も多きは獨逸にして其四割四分を占め英國及白耳義之に亞く而して我國にては田中製鐵所及八幡製鐵所の二ヶ所にて製出するも未だ其額多からず

軌條の輸入品は土木鑛山輕便鐵道用の九封度、十二封度、十八封度のものにして主として獨國及米國産なり

筒及管の輸入品は主として米、獨、英より供給せらる、本邦にては鑄鐵管は今や内地の總需要に應ずるに足る生産あり、鋼鐵管は日本鋼管株式會社及住友伸銅所に於て製出せらる(日本鋼管會社の製産能力は年額一萬五千噸なりと云ふ)鋳力鈹の輸入は英國産最も多く米、獨産亦尠しとせず

三、本邦使用鐵鋼材種類

本邦使用の鐵鋼材種類を調査せんには本邦生産の鐵鋼材に、海外より輸入せる鐵鋼材を併せ參酌して略ぼ需用の種類概略大勢を卜知し得へし

今本邦に於ける一ヶ年の鋼材生産高は、最近統計によれば約三十二萬噸、金額二千七百萬圓内外にして此中八幡製鐵所の供給に係るものは、

品目	大正三年度		大正二年度		大正元年度	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額
鋼	二二〇、九二八 <small>噸</small>	—	二二六、二二二 <small>噸</small>	—	二〇七、二八〇 <small>噸</small>	—
鐵	—	—	—	—	—	—

(同所に於ける銑鐵は殆んど全部鋼鐵原料に供せらるゝを以て之を除外せり)にして本邦鐵鋼總生産高の約七割を占む、今製鐵所に於ける大正二年三年度の生産品目を列記すれば、